



今年の貝殻島コンブ漁に出漁する船は昨年から12隻減少して183隻。年々減少しています。高齢化や後継者の減少、気候や海の変化などによる生産減と漁業を取り巻く環境は一層厳しさを増していると聞きます。地域の産業、日本の食料を支えていくために国や北海道をはじめ行政側の対策強化が求められているものと思います。

貝殻島コンブ漁が一斉出漁 豊漁と安全な操業をお祈り申し上げます

大変な不漁となった昨年に比べて、今年は調査でも良いようだと期待が高まっていました。悪天候などで予定から2日遅れた6月3日、午前6時に合図とともに一斉に出漁する「風物詩」を今年も納沙布灯台から多くの市民らが見送りました。

初日のコンブ漁の様子について花咲港の須崎市議のお宅で教えて頂きました。お昼頃にはコンブが干場一面に並べられた光景が広がっていました。この日は薄曇りでそれほど気温も上がらず、この時期の薄いコンブを干すのに丁度良い気候とのこと。

「こんなに採れたのは何年ぶりだろうね」と喜びの声が上がっていました。昨年は本当に少なかつたそうです。

「ご主人さんのお話によると「若いコンブが少なかった。すでにシッポの方が枯れているものもある」と生育が早い様子です。今後数多く出漁できることが期待されています。

6月3日、天候等から二日遅れで貝殻島コンブ漁が出漁しました。初日からこれだけ採れたのは数年ぶり、と喜びの声が聴かれました。



ラムサール条約湿地登録 20周年記念事業を計画

根室ワイズユースの会

6月3日、根室ワイズユースの会(千葉勝博代表)は令和7年度総会を根室市役所内で開催。

今年は2005年度に風連湖・春国岱がラムサール条約湿地に登録されてから20周年の節目として記念事業が計画されました。

20周年記念事業は、春国岱・風連湖の写真展のほか、風連湖・春国岱がラムサール条約湿地登録された11月8日(土)に、根室ネイチャーセンターでハマナス群落再生プロジェクトなどこれまで行ってきた自然保護活動について等の講演会を予定。また同日午後から春国岱ガイドツアーを開催し、併せて現在は5基を設置しているハマナスをエゾシカの食害から防護する柵をさらに拡大、網目なども改良する工事を市民協働で実施する予定とのことです。



2024年9月23日 春国岱環境保全活動の様子

根室市議会が「議会報告会」を開催

根室市議会は毎年開催している議会報告会を市総合文化会館で開催。当日は28名の方が参加され市政等へ様々なご意見をいただきました。



各常任委員会や特別委員会等による前年度の活動報告に続いて行われた質疑や意見交換の中で、

- ・ 北斗小学校と柏陵中学校の統合で、保護者の送迎の車両が近隣に駐車し交通安全上で心配がある。こうした保護者や関係者などからの様々な意見を反映させる機会を設けて欲しい。
- ・ 街中におけるフリーゾーンの促進。
- ・ 毎年12月1日の「北方領土返還要求中央アピール行動」は全国規模のマスコミには大きく取り扱われず、全国的にあまり知られていない。大手の新聞社やテレビ局等への働きかけを強める必要があるのではないか。
- ・ 看護師など医療・介護の専門職の不足によるサービス提供体制が心配。
- ・ 観光地における老朽化した施設等への対応を図るべきではないか。

など多くのご意見、質問を頂きました。また会場で記載して頂いたアンケートなども含めて参考にしてしながら、所管する常任委員会・特別委員会として今後の活動のなかで取り組んでいくこととしています。ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。